

白十字病院泌尿器科 卒後研修プログラム

1. 泌尿器科の特徴と実績

泌尿器科一般の診療を行っていますが、患者様は紹介患者が多く、地域に根付いた診療科です。

泌尿器科は約15床。スタッフは、吉田一博副院長(泌尿器科指導医、専門医、透析専門医)、御厨学(泌尿器科指導医、専門医)、坪内和女の3名で診療しております。

入院患者延べ数(平成20年度)は711名(転科は含めず)で、疾患順では腫瘍、結石、炎症の順でした。

後腹膜、副腎、腎、尿管疾患では尿管結石が110名で最も多く、腎結石24名、腎盂腎炎21名の順で、膀胱、前立腺、尿道、陰嚢内容疾患では前立腺腫瘍疑いが115名で最も多く、膀胱腫瘍74名、前立腺肥大49名の順でした。

手術件数(平成21年度手術室)は256件で経尿道的膀胱癌切除が83件と最も多く、経尿道的前立腺切除が66件の順でした。成人では鏡視下手術に力を入れています。

体外衝撃波結石破碎術(ESWL)は211回施行しました。

専用機器としては、超音波診断装置、体外衝撃波結石碎石装置などが稼働しています。

2. 到達目標

泌尿器科プライマリケアの能力を身に付けるとともに、泌尿器科診療の基本的な考え方を身につけることが目標です。

- 1)泌尿器科診療における一般到達目標、すなわち基本的な診察法・検査法・画像診断法・内視鏡操作・治療法を身につけます。
- 2)学問的見地からの情報収集・症例検討・学会および論文発表などを行います。

3. 臨床研修内容と診療体制

研修指導医の指導のもとに下記研修を行います。

- 1)研修開始2 - 4週間はオリエンテーションとして、指導医の指導のもとに院内の診療に関する規則や施設・設備などを理解し、副主治医として入院患者の治療を担当します。その後は入院患者の主治医となり、指導医の指導のもとに手術・術前術後管理を主とした退院まで行います。
- 2)外来では病歴聴取と診察を行い、それに基づく適切な検査法を選択します。
- 3)膀胱鏡検査・超音波検査(特に腎・膀胱・前立腺・陰嚢内容)・膀胱内圧測定を行います。
- 4)手術適応を含む適切な治療法を選択し、入院の必要性について判断します。
- 5)体外衝撃波碎石装置による腎尿管結石の治療を行います。
- 6)泌尿器科の専門的手術を理解するため当初、手術助手を務めますが、約1年後には指導医の指導のもとに超音波監視下の前立腺針生検、経皮的腎瘻造設術、経尿道的前立腺切除術、経尿道的膀胱腫瘍切除術を術者務めます。腹腔鏡下手術では助手を務めます。

4. 勤務時間 スケジュール

白十字病院の労働時間に順ずるが、医師として手術、術後管理、急患の対応等の超勤に関しては個々が判断する。

【勤務時間】

月～金:午前8時30分～午後5時30分

土曜日:当院規定の休日規則による

病院当直は、3回/月程度。

【スケジュール】

午前:原則外来

午後:原則手術

【カンファレンス、抄読会など】

病棟カンファレンス:水曜日 17時より

手術カンファレンス:毎週木曜日 8時 8時30分(麻醉科医師:水城先生同席)

泌尿器科病理カンファレンス:第 1.3 火曜日 7 時 50 分 - 8 時 20 分(病理医師:大谷先生指導)

抄読会:毎週木曜日 7 時 40 分 8 時(4 週毎発表)

西部泌尿器科カンファレンス:偶数月の第 4 水曜日 19 時 21 時 30 分(勤務医、開業医師約 10 名)

5. 指導体制

後期研修医 1 名につき 1 名の指導医が指導に当たる。担当疾患の検査計画・術後管理が的確に行われているか、毎週水曜日・木曜日に行われる病棟、手術カンファレンスでチェックする。

6. 評価方法

研修医の到達目標が円滑かつ効率よく達成されているか、担当指導医が随時確認し援助・修正を行う。研修開始日のオリエンテーション時に配布する到達目標、研修暦(担当疾患・手術件数)、日本泌尿器科学会専門医制度研修カリキュラムに準じて自己達成状況・自己評価を行わせる

7. 所属学会および取得可能な認定医・専門医・指導医制度等

日本泌尿器科学会 専門医 指導医